

土地連共済融資

平成4年度 融資総額12億4,060万円

利率は年二回の見直しへ

当連合会においては、軍用地等関係地主土地連共済会員の相互扶助並びに福利増進を図るため、毎年、関係金融機関との協議融資を行っております。平成四年度までの融資枠については前年度の十倍増額(約四十二億九千万円)とし、各市町村の所属地土連会を通じて、昨年から十五日から十五日まで、融資枠の受け付けが行われました。その結果、融資希望者は一六八名で、融資申込総額は土債四億六千万円、融資枠の二九七・〇%となりました。

地主会別融資状況表

Table with columns: 地主会, 平成4年度, 平成5年3月末現在. Rows include 国頭村, 東部町, 名護市, etc.

融資利率は年七・五%から年五・七%に引き下げられ、必要があると思えます。必要のある融資枠の直しは、平成五年九月以降は日本銀行の公定歩合を基礎とし、固定歩合や長期プライムレート(長期貸出最優遇金利)の金利引き下等によって、金融機関との協議の結果、左記の通り実施されることになりました。

平成5年度 軍用地料

= 政府予算額 =

総額608億円 対前年度40億円(7.0%)増

沖繩県における軍用地等賃貸料については、毎年適切な増額改定の措置を要請して、同年八月十九日に会長、事務局長が上京し、概算要求額が、平成五年度の軍用地等賃貸料については、平成四年度五月十五日の第四七回定期総会の決議のもと、地庫上昇分を三分し、三〇パーセントの増額、種別及び詳細については、総合的な見直しに基づいて調整して八千四百二十億七千万円(総額六百七十億七千万円)の予算措置を要請することとしました。

入る際、共済拠出金として、これまで、当該施設、区域等の面積及び開地料額を基準に、三ランク(Aランク・七万円・Bランク・五万円・Cランク・三万円)に分けてありましたが、このたび、共済基金の増大を図る必要から平成四年十月一日以降、新規加入に伴う拠出金は一律十万円に改正されました。

共済拠出金利率年五・七%から年四・九%へ引き下げ実施決定。平成五年月から共済融資金利が統一され、年五・七%でスタートした。五、担保:当該軍用地及び六、保証人:原則として必要貸付集については、平成五年九月下旬頃、沖繩タイムス及び琉球新報の両朝刊に新聞広告の予定で、六月の約定返済日の翌日に金利の年四・九%が変更されることになりました。

金融機関別融資状況表. Table with columns: 金融機関, 件数, 平成5年3月末現在. Rows include 沖繩県信連, 琉球銀行, etc.

軍用地等賃貸借料予算額. Table with columns: 省庁項目, 平成4年度予算額, 平成5年度予算額. Rows include 防衛施設庁, 施設・区域等.

「軍用地跡地特措法制定」必要が83%

「返還望まない」は75%

土地連会等は、平成五年三月二十六日の第四十八回定期総会で、今後の軍用地等諸問題の解決推進の参考資料とするため、軍用地等跡地の実態並びに軍用地等に対する考え方の調査を行うことを決定し、傘下二十八地主会へ調査を委託しております。この度、次のとおり調査結果がまとまりました。それによると、軍用地主は、性別では男性が七三・一％、年代別では六十歳以上が最も多く、半数以上の五〇％を占めています。

軍用地の返還については、希望せずが七五・五％、軍用地料が適正かどうかについては、適地と思っていないが七九・二％で、圧倒的に返還ではない結果が示されています。また、軍用地の返還法並びに跡利用の促進に関する特別措置法制定については、八三・五％が必要とされ、軍用地が返還される前に跡利用計画をつくることについては、五三・九％が必要とされており、返還合意施設のみを必要としたのが三五・四％となっている。なお、軍用地の跡利用計画については、八九・三％の地主が、その必要性を認めているとの結果であります。

調査の目的等
一、調査目的
この調査は、当連会傘下の軍用地等跡地の実態を把握すると同時に、同軍用地等、自衛隊、運輸施設を含む、自衛隊、運輸施設を含む、その意向を明らかにし、今後の軍用地等諸問題の解決を推進していく上で参考資料としていくことを目的としたものである。

二、調査対象
二十八町村地主会三十二、二百二十四名の地主会の中から各地主会において二〇パーセント以上を単純無作為に抽出した一万五千七百七十六名(五〇・五パーセント)を調査対象とした。

三、調査方法
調査表に基づき、地主本人に対する聞き取り調査及び郵送調査。

四、調査期間
平成五年五月一日から同年六月三十日まで。

五、回収率
調査対象の一万五千七百七十六名に対し、一万三千九十七名から回答があった。回収率は六五・九パーセント。

注：調査について回答が七名であるが、設問によっては回答件数を上回ることがある。これは、一人で複数の軍用地等を所有する地主が、所属地主会毎に回答する場合があるためである。

問1. あなたの所有する軍用地(自衛隊施設を含む)の所在地(市町村)、面積を記入して下さい。

市町村名	件数	比率	面積 (㎡)	比率	市町村名	件数	比率	面積 (㎡)	比率
国頭村	51	0.4	110,242	0.3	北中城村	370	3.3	769,365	2.2
東 村	42	0.4	547,195	1.6	宜野湾市	617	5.5	1,193,643	3.4
本部町	19	0.2	10,291	0.0	浦添市	935	8.4	1,653,279	4.8
名護市	445	4.0	4,980,566	14.3	那覇市	1,526	13.7	2,338,982	6.7
恩納村	355	3.2	1,333,841	3.8	東風平町	31	0.3	42,737	0.1
宜野座村	95	0.8	361,558	1.1	具志頭村	13	0.1	20,197	0.1
全武町	637	5.7	2,474,955	7.1	玉城村	10	0.1	1,760	0.0
伊江村	304	2.7	2,273,120	6.5	知念村	52	0.5	79,602	0.2
石川市	85	0.8	187,845	0.6	佐敷町	19	0.2	25,433	0.1
勝連町	350	3.1	725,399	2.1	糸満市	22	0.2	42,324	0.1
具志川市	416	3.7	1,221,055	3.5	具志川村	15	0.1	3,650	0.0
沖縄市	1,876	16.8	5,784,657	16.6	不 明	44	0.4	33,888	0.1
読谷村	1,070	9.6	3,632,682	10.4	合 計	11,166	100	34,804,072	100
嘉手納町	1,238	11.1	3,686,626	10.6					
北谷町	529	4.7	1,268,880	3.7					

問2. あなた自身のことについてお聞かせ下さい。

(性別)

地主会名	男	比率	女	比率	不明	比率	計	比率
国頭村	45	88.2	5	9.8	1	2.0	51	100
東 村	26	63.4	14	34.2	1	2.4	41	100
本部町	19	100	0	-	0	-	19	100
名護市	316	72.0	123	28.0	0	-	439	100
恩納村	248	82.4	53	17.6	0	-	301	100
宜野座村	75	78.9	20	21.1	0	-	95	100
全武町	437	69.4	193	30.6	0	-	630	100
伊江村	275	91.4	26	8.6	0	-	301	100
石川市	72	92.3	6	7.7	0	-	78	100
勝連町	303	89.1	37	10.9	0	-	340	100
具志川市	299	72.9	103	25.1	8	2.0	410	100
沖縄市	1,254	70.1	517	28.9	18	1.0	1,789	100
読谷村	791	79.1	208	20.8	1	0.1	1,000	100
嘉手納町	772	67.7	346	30.3	23	2.0	1,141	100
北谷町	276	74.0	91	24.4	6	1.6	373	100
北中城村	249	75.5	79	23.9	2	0.6	330	100
宜野湾市	340	66.0	149	28.9	26	5.1	515	100
浦添市	380	64.0	214	36.0	0	-	594	100
浦 添	198	62.8	107	34.0	10	3.2	315	100
那覇市	720	74.8	243	25.2	0	-	963	100
那 覇	371	72.0	143	27.8	1	0.2	515	100
東風平町	26	86.7	4	13.3	0	-	30	100
具志頭村	7	70.0	3	30.0	0	-	10	100
玉城村	9	90.0	1	10.0	0	-	10	100
知念村	40	80.0	10	20.0	0	-	50	100
佐敷町	16	84.2	3	15.8	0	-	19	100
糸満市	21	87.5	3	12.5	0	-	24	100
具志川村	14	100	0	-	0	-	14	100
合 計	7,599	73.1	2,701	26.0	97	0.9	10,397	100

(年齢)

地主会名	20歳未満	比率	20歳以上 40歳未満	比率	40歳以上 60歳未満	比率	60歳以上	比率	不明	比率	計	比率
国頭村	0	-	1	2.0	20	39.2	29	56.8	1	2.0	51	100
東 村	0	-	1	2.3	16	39.0	21	51.2	3	7.3	41	100
本部町	0	-	0	-	0	-	19	100	0	-	19	100
名護市	4	0.9	58	13.2	185	42.2	192	43.7	0	-	439	100
恩納村	0	-	16	5.3	111	36.9	174	57.8	0	-	301	100
宜野座村	2	2.1	2	2.1	43	45.3	48	50.5	0	-	95	100
全武町	2	0.3	30	4.8	255	40.5	343	54.1	0	-	630	100
伊江村	0	-	25	8.4	138	45.8	138	45.8	0	-	301	100
石川市	0	-	1	1.3	31	43.3	43	55.1	0	-	78	100
勝連町	2	0.6	15	4.4	119	35.0	204	60.0	0	-	340	100
具志川市	1	0.3	32	7.8	176	42.9	201	49.0	0	-	410	100
沖縄市	18	1.0	204	11.4	659	36.8	897	50.2	11	0.6	1,789	100
読谷村	0	-	10	4.0	380	38.0	580	58.0	0	-	1,000	100
嘉手納町	10	0.9	104	9.1	452	39.6	566	49.6	9	0.8	1,141	100
北谷町	7	1.9	46	12.3	153	41.0	163	43.7	4	1.1	373	100
北中城村	0	-	30	9.1	110	33.3	190	57.6	0	-	330	100
宜野湾市	5	1.0	53	10.3	208	40.4	244	47.3	5	1.0	515	100
浦添市	9	1.5	73	12.3	259	43.6	253	42.6	0	-	594	100
浦 添	4	1.3	42	13.3	109	34.6	155	49.2	5	1.6	315	100
那覇市	1	0.1	123	12.8	409	42.5	430	44.6	0	-	963	100
那 覇	0	-	26	5.0	173	33.6	313	60.8	3	0.6	515	100
東風平町	0	-	1	3.3	7	23.3	22	73.4	0	-	30	100
具志頭村	0	-	0	-	3	30.0	7	70.0	0	-	10	100
玉城村	0	-	0	-	1	10.0	9	90.0	0	-	10	100
知念村	0	-	2	4.0	15	30.0	32	64.0	1	2.0	50	100
佐敷町	0	-	0	-	10	52.6	9	47.4	0	-	19	100
糸満市	0	-	2	8.3	7	29.2	15	62.5	0	-	24	100
具志川村	0	-	1	7.1	5	35.7	8	57.2	0	-	14	100
合 計	65	0.7	928	8.9	4,057	39.0	5,305	51.0	42	0.4	10,397	100

問3. あなたの軍用地は、返還されることを希望しますか。

Table with columns: 地区名, 1.希望する (比率), 2.希望しない (比率), 3.不明 (比率), 計 (比率). Rows list various municipalities like 国領村, 東村, etc.

(返還希望施設)

Table with columns: 施設名, 件数, 市町村名. Lists facilities like 奥間レストセンター, 伊江島補助飛行場, etc.

Table with columns: 施設名, 件数, 市町村名. Lists facilities like キャンプ・瑞慶覧, 楚辺通信所, etc.

問4. あなたの軍用地は適正だと思いますか。

Table with columns: 地区名, 1.適正と思う (比率), 2.適正と思わない (比率), 3.不明 (比率), 計 (比率). Rows list various municipalities.

問5. 軍用地の返還方法並びに跡利用の促進に関する特別措置法の制定は必要だと思いますか。

Table with columns: 1.必要である (比率), 2.必要でない (比率), 3.不明 (比率), 計 (比率). Rows list various municipalities.

問6. 軍用地が返還される前に跡利用計画をつくることは必要だと思いますか。

Table with columns: 1.必要だと思う (比率), 2.合意施設のみ必要 (比率), 3.必要だと思わない (比率), 4.不明 (比率), 計 (比率). Rows list various municipalities.

特集 返還軍用地問題

冷戦終結後の世界情勢は、基地の撤退あるいは縮小へ変化している。その中で、国内の駐留軍用地の整理も進められていくと予想される。平成六年には、十七施設、二十三事業の返還が日米合同委員会では合意されたと見られています。返還地としては、道庁管内に約一、二万ヘクタール、市町村管内に約一、三万ヘクタール、合計約二、五万ヘクタールと推定されています。返還地は、約一、三万ヘクタール、市町村管内に約一、二万ヘクタール、合計約二、五万ヘクタールと推定されています。返還地は、約一、三万ヘクタール、市町村管内に約一、二万ヘクタール、合計約二、五万ヘクタールと推定されています。

これは、実在全国の約七五パーセントを占めることとなります。また、一時的に使用する土地を含めると、沖繩県の駐留軍用地の面積は、約一、二万ヘクタールと推定されています。返還地は、約一、三万ヘクタール、市町村管内に約一、二万ヘクタール、合計約二、五万ヘクタールと推定されています。

返還されたら遊休化し、利用できないという現状をどうするか、これが最大の課題です。返還地は、約一、三万ヘクタール、市町村管内に約一、二万ヘクタール、合計約二、五万ヘクタールと推定されています。

表1 返還向け日米双方で所要の調整・手続きを進めることが確認された事業一覧 (単位: ㎡)

施設名	区	面積	面積(計)	事業	備考
北部訓練場	県道名護国道線以南の一部	2,634	1,504	安保護	
	同須村地区及び東村地区(内安保護と重複)	1,504 (2,634)		軍転協要	
八重岳通信所	南側部分(他に北側部分)	50 (63)	113	安保護	
	同道329号沿いの一部	17		17	
キャンプ・シュワブ	東支那海側斜面の一部	1,619	1,653	安保護	
	金武町内の一部	34		34	
恩納通信所	全部	631	631	軍転協要	
	東側部分(県道と重複)	260		260	
嘉手納弾薬庫地区	同道58号沿い・東側部分	145	633	安保護	道南ゴルフ場代替地未確定のため面積未確定
	田東恩納弾薬庫部分(軍転協と重複)	6		6	
知花サイト	全部	1	1	米側	
	嘉手納バイパス(安保護と重複)	6		6	
トワイ通信施設	全部	20	20	米側	
	嘉手納飛行場	24		24	
砂辺倉庫	全部	3	3	米側	
	同道58号沿い及び東側部分2ヶ所	122		122	
キャンプ・桑江	北側部分(内安保護と重複)	353 (120)	355	軍転協要	
	道南ゴルフ場	148		148	
キャンプ・瑞穂	地下道信用ファネル等部分	0.2	148.2	軍転協要	
	東側沿いの土地	12		12	
普天間飛行場	全部	1	1	米側	
	牧港供給地区補助施設	15		15	
陸軍野油施設	浦添・宜野湾市間パイプライン	43	43	軍転協要	
	浦添・宜野湾市間パイプライン	0.1		0.1	
計17施設		8,533.2 (一部面積未確定)			

※ この表は、あくまで日米双方の検討作業の結果、現時点において返還に向けて日米双方で所要の調整・手続きを進めることが確認された事業と見られるものであり、その実施にあたっては、今後更に合同委員会における施設・区域に係る調整・手続きを要する必要がある。

